

「日経 xTECH EXPO AWARD 2019」にて

「準グランプリ オフィス IoT 賞」を受賞

株式会社協和エクシオのグループ会社である株式会社 WHERE は、ビジネスと技術の「クロス領域」で起こるイノベーションの祭典「日経 xTECH EXPO 2019」（東京ビックサイト、2019年10月9日～10月11日、日経 BP 社主催）に EXBeacon プラットフォームを活用したオフィスソリューション「EXOffice」を出展し、このたび、出展されたすべての製品/サービスの中から表彰される「日経 xTECH EXPO AWARD 2019」にて「準グランプリ オフィス IoT 賞」を受賞しました。

同賞は、日経 BP 社の技術系媒体の編集部が共同で行い、製品/サービスとして優れていると同時に、来場者に対して分かりやすくインパクトのある展示を行ったものに対して授与され、数ある製品/サービスの中からグランプリ 1 社、準グランプリは WHERE を含む 8 社選出されました。

【EXBeacon プラットフォーム】

Bluetooth の新しい規格である Bluetooth Mesh (ブルートゥース・メッシュ) に準拠したメッシュ型ビーコン端末で構成された、オフィスや工場などの建物施設全域に敷設する IoT (機械間) 通信を担う新しい LAN。

当プラットフォームとアプリを活用してデジタルツインを実現する。働き方改革やワークスタイル変革の実現に向け、フリーアドレスを採用したオフィスの在席把握や会議室利用管理など「働き方の見える化」や、工場・倉庫の人・物の所在位置・時間の管理、従業員の「行動・作業の可視化」、室内の環境管理、各種センサー情報の収集など「環境の見える化」、建築現場・工事現場の入出門管理や機材・物品の所在・持ち出し管理など「現場の見える化」を実現し、利便性向上、安全性向上に役立てることが可能。あわせて IoT データベースから洞察情報を得ることができるので、原価計算の道具として生産性向上などに寄与する。

<https://where123.jp/solutions/office/exoffice> (WHERE 社 EXOffice ページへリンク)

【受賞理由・審査員講評】

社員の在席状況や備品の置き場所を可視化できるだけでなく、社員食堂やトイレの空き状況などもきめ細かく管理でき、無駄な待ち時間を削減する効果が見込めることを評価した。監視対象として会議室エリアを加えることで、予約したが使わない人に注意喚起することも可能。従来、機器やタグを売り切る方式だったが、2019 年中にサブスクリプション方式でも提供予定という。



オフィスのデジタルツインを実現するオフィス・ソリューション

EXOffice



展示ブースの様子



表彰式の様子 (左から4番目が WHERE 岩井副社長)